

# 人材

## 社員の健康

403-6,403-10

### 基本的な考え方・方針

ユニ・チャームは、社員がいいきぎと働き活躍するには、「心と体の健康」が大前提であると考えています。このため、2007年4月には「健康経営宣言」を制定し、「自分の健康は自分で守る」を基本に、健康リテラシーを高める健康経営を全社で推進しています。また、2023年度より健康社会の実現を目指して「健康経営アライアンス」に参画しています。企業と健康保険組合が連携したコラボヘルス\*の推進により、社員が健康で最高のパフォーマンスを発揮できるように取り組むことで、一人ひとりの成長を当社の成長につなげます。なお、健康経営宣言は適宜、見直しています。

\* 健康保険組合などの保険者と事業主が積極的に連携し、明確な役割分担と良好な職場環境の下、加入者(社員・家族)の予防・健康づくりを効果的・効率的に実行すること。

[web 健康経営アライアンス](https://kenkokeiei-alliance.com/)  
https://kenkokeiei-alliance.com/

### ▶ 健康経営に関する基本方針

1. 社員は一次予防を最優先とし「自分の健康は自分で守る」を基本に生活習慣改善に努める
2. 会社は社員一人ひとりが持っている能力を発揮し充実した職場生活が送れるよう安全・快適な職場環境を整える
3. 人事担当部門は健診結果など個人情報の適正な利用と管理の徹底をはかり社内外の協力者と歩調をあわせ、健康管理を推進する

### ▶ 健康経営宣言

ユニ・チャームは、「共生社会」の実現に寄与するために、環境問題や社会課題の解決に取り組んでいます。これらの課題を解決していくには、多様な人材が、活力に満ち溢れ、ポテンシャルを発揮することが重要であると考えています。そのためには、社員一人ひとりの「健康」がなにより大切です。

また、ユニ・チャームでは、「3つの豊かさ(志、経済、心と体)の実現」を全社員共通の目標に位置づけています。仕事、プライベートでの夢の実現は「心と体の健康」があつてこそと考え、公私の充実が社員の幸福、そして会社への生産性の向上、維持につながり、社員も会社も健康を分かちあえると考えています。

従来取り組んできた健康維持・増進施策を一段とパワーアップして、いいきぎ健康的に働き、付加価値を生み出す「健康経営」にユニ・チャームの人材戦略として取り組みます。

ユニ・チャームは、その人らしさを尊重し、みんなで支え合える社会へ向けて、社員の健康を最重要経営資源と捉え、社員の心身の健康維持・増進を戦略的に実践していくことを宣言します。

ユニ・チャーム株式会社  
代表取締役 社長執行役員  
高原 豪久

### ▶ 健康経営に向けた活動方針

1. 社員の健康を支援する専門家集団として、働く仲間の健康リテラシーを向上させ、健康的な職場づくりに貢献する
2. 社員の笑顔を引き出し、気力・体力とも充実した社員を増加させることで個々のパフォーマンスを高めることを実現する
3. 「自分の健康は自分で守る」を基本に楽しく気軽に時には厳しく、セルフケアの活動の支援を通し健康意識の向上を図る

### マネジメント体制

社員の健康づくりについては、社長執行役員を最高責任者として、グローバル人事総務本部内に設置されたいいきぎ健康推進室が中心となり、経営層へ定期的に報告し承認を得て、施策を立案・実行しています。また、産業医や保健師などの専門家と連携して、社員の心身の健康管理に取り組んでいます。

### 指標と目標

#### ▶ Kyo-sei Life Vision 2030「ユニ・チャーム プリンシプル」

指標	2022 年度 実績	2023 年度 実績	2024 年度 実績	2030年 目標
心身ともに社員が健康で安心して働くことができる職場環境整備による心身の不良を原因とした退職者の削減比率。	7名 (日本)	9名 (日本)	13名 (日本)	半減 (2020 年度比)

※ 2020年度は4名(日本)。

## 取り組み・実績

### 健康でいきいきと働ける職場環境づくり

当社では、一人ひとりの意識改革と業務改革を推進することで、労働時間の削減や、生産性向上に取り組む「働き方改革」を推進しています。具体的には、自宅などでも勤務可能な「リモートワーク制度」や、勤務時間を選択できる「フレックスタイム制度(当社はコアタイムを設定していません)」等を導入し、社員一人ひとりが、ライフイベントなどに合わせて柔軟に働き方をデザインできるようにしています。また、原則として休日は上司・同僚・部下間の電話・メールを禁止するなど、オン・オフを明確にすることによって心身ともにリフレッシュできる休み方も視野に入れて職場環境改善を推進しています。

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	範囲
リモートワーク制度 利用率(%)	57.0	52.0	48.0	ユニ・ チャーム 株式会社

### 有給休暇の取得推進

ユニ・チャーム株式会社では、半期ごとに4日間、記念日などに各自が計画的に有給休暇を取得できるアニバーサリー休暇の取得を徹底するなど、年5日以上有給休暇の取得を推奨しています。

	2022 年度 実績	2023 年度 実績	2024 年度 実績	2025 年度 目標	範囲
有給休暇取得率 (%)	61.8	71.2	70.0	75.0	ユニ・ チャーム 株式会社

### 適正な労働時間の管理

ユニ・チャーム株式会社では、パソコンのログオン・ログオフ時刻による実際の労働時間のモニタリングを行っています。この取り組みを通じて「インターバル勤務(業務終了後、次の始業までに原則12時間、最低10時間以上の休息時間を確保すること)」を徹底するなど、適正な休息を伴う労働となるよう指導しています。また月1回のノー残業デーなどを導入し、事務所からの定時退社を促しています。

	2022 年度 実績	2023 年度 実績	2024 年度 実績	2025 年度 目標	範囲
一人当たり 総労働時間 (時間)	2,000.2	1,966.6	1,957.4	2,000時間 未満	ユニ・ チャーム 株式会社

### 健康診断

ユニ・チャーム株式会社では、社員の健康管理を支援するため、定期健康診断の必須項目の他、国が推奨するがん検診や肺機能検査、腹部超音波検査、眼底・眼圧検査などの検査項目を加えて実施し、2009年度から受診率100%を維持しています。

健康診断で再検査または精密検査が必要と判断された社員に対しては、産業医からの指導などにより早期発見・早期治療を推進しています。また、2020年度より健康診断結果をデータ化し、分析することで、社員の特徴に合わせた啓発活動や健康管理支援を実施しています。

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	範囲
健康診断受診率(%)	100	100	100	ユニ・ チャーム 株式会社

### 女性の健康

ユニ・チャーム株式会社は、乳がん、子宮頸がんへの早期予防対策として、全女性社員(年齢不問)の乳がん・子宮頸がん検診を会社負担で実施しています。また、生理休暇制度を「ソフィ休暇」と命名し、自社の生理用品ブランドを冠することで社内浸透と取得しやすい風土の醸成に努めています。

2023年度に続き、10月18日の世界メノポーズデーに合わせて更年期に関する教育を実施しました。カリキュラムでは、女性のみならず男性更年期についても取り上げ、早期発見・受診につなげられるチェックリストも紹介しました。年代や性別にかかわらず全社員が更年期に関する基本的な知識を学ぶことで、互いに理解し合い、配慮できる職場づくりを目指しています。

また、2024年度からは多様なキャリアやライフプランの実現を支援するために、女性が安心して働き続けられる選択肢のひとつである卵子凍結保管サービスの費用補助を開始しました。さらに、性差にかかわらず、心と身体を正しく理解するためのWebセミナーを開催することで、未来の選択肢を広げ、後悔することなく安心して、持続的にパフォーマンスを向上できるように取り組みを進めています。

	2023年度実績	2024年度実績	範囲
「更年期の健康」 受講者数(名)	2,150	2,142	ユニ・チャーム 株式会社

P.105 【健康】ピンクリボン活動支援

### 「女性の健康経営®アワード」で推進賞を受賞

ユニ・チャーム株式会社は、「女性の健康経営®アワード」(主催:公益社団法人女性の健康とメノポーズ協会)において推進賞を受賞しました。全社員を対象としたeラーニングでの「更年期の健康教育」の実施や、アンケートで「更年期症状が見られる」と回答した社員に対する継続的な働きかけなどが、独自性の高い効果的な取り組みとして評価されました。

## 【マレーシア】

### 「Women's Health Awareness Talk」を開催

マレーシアの現地法人は、4月7日の世界保健デーに合わせ、ライオンズクラブの現地支部と協力して、「Women's Health Awareness Talk」を開催し、工場や営業部門の女性社員などのべ130名が参加しました。「Women's Health Awareness Talk」では、自然療法医が「女性の子宮：なぜ女性は生殖機能障害になるのか」と題して、自然療法医学の観点から健康な子宮を維持する重要性について講演しました。

### 高齢社員の健康

ユニ・チャーム株式会社は、社員が退職後の長い人生も健康に過ごせるように、定年再雇用時に転倒予防(筋力維持のための運動・栄養)や睡眠、メンタルヘルス、がんの早期発見など、高齢者に特化したテーマの研修を実施しています。さらに、全社員を対象とした体力測定会や体組成測定会への参加も推進しています。

### 禁煙の取り組み

ユニ・チャーム株式会社では、2013年度より禁煙の取り組みを段階的に開始し、2016年度よりすべての事業所を全面禁煙としました。営業活動やリモートワークなど当社事業所外で勤務する場合も始業から終業までの時間帯は禁煙を義務づけています。全面禁煙導入に際しては、関連情報をイントラネット上にポップアップ表示するなど周知徹底に努めました。毎月発行している健康関連啓発社内報や社内設置しているデジタルサイネージ等では、世界禁煙デーに合わせて毎年禁煙に関する情報を発信しています。また、健康保険組合が実施する禁煙サポート等も紹介し、継続的に禁煙を推進しています。

## 運動推進の取り組み

社員が気軽に、楽しく、継続的に運動できるよう、毎朝始業時刻である8時にラジオ体操を実施しています。このラジオ体操には自宅などでリモートワークをしている社員もオンラインで参加します。また、オフィス内のフロア移動には極力階段を使用することを奨励し、ちょっとした運動を通じて体力の維持と身体機能の低下を防ぐように促しています。

ユニ・チャーム株式会社の本社事務所では、業務の合間のリフレッシュや生産性向上、健康に対する意識向上を目的に、あん摩マッサージ指圧師によるマッサージ、外部トレーナーによるパーソナルストレッチを実施しています。また、自身の健康や体力レベルを把握できる体組成測定会や体力測定会も実施しています。このような取り組みが評価され、「健康経営優良法人(ホワイト500)」に2年連続で認定されました。



	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	範囲
体組成測定会 参加者数(名)	116	235	306	ユニ・ チャーム 株式会社
マッサージルーム 利用者数(名)	—	253	782	
パーソナルストレッチ 利用者数(名)	—	338	342	

ユニ・チャーム株式会社は、スポーツが生活の一部となることを目指す「Sport in Lifeプロジェクト」に賛同し、「Sport in Lifeコンソーシアム」に加盟しています。また、社員の健康増進のためにスポーツ活動の支援や促進を積極的に行っている企業として、スポーツ庁が推進する「スポーツエールカンパニー2025+(プラス)」と東京都が推進する「令和6年度 東京都スポーツ推進企業」に認定されました。



## 【台湾-大中華圏】ウォーキング活動

台湾-大中華圏の現地法人は、2022年度から社員の健康増進を目的に半年に一度、ウォーキング活動を行っています。この活動は、1日8,000歩以上を達成すると1ポイントが貯まる仕組みとなっており、社員一人ひとりが専用アプリを使用して、毎日の歩数目標の設定と実績を管理します。期間中に72ポイント以上を獲得した人や、累計100万歩を達成した人には景品が贈られるなど、社員の運動習慣の定着に貢献しています。2024年4月から6月に行われた第4回ウォーキング活動には、125名の社員が参加しました。

P.49 【台湾-大中華圏】苗木の寄付

## 【マレーシア】SOCSO Activ@Work Challenge 2024

マレーシアの現地法人は、健康的なライフスタイルを身につけるための社内チャレンジ「SOCSO Activ@Work Challenge 2024」を実施し、120名が参加しました。このチャレンジでは、2024年7月から9月の3ヵ月間の歩数を競います。個人と部門の2つのカテゴリーに分かれており、個人カテゴリーでは実施期間中の歩数が最も多かった従業員を優勝としました。一方、部門カテゴリーでは部門内の参加者の平均歩数が最も多い部門を優勝としました。

参加した社員は、チャレンジ終了後も、アクティブなライフスタイルを維持することが自分自身の健康と幸福のために重要であることを認識し、ウォーキングを継続しています。

## 【タイ】ウォーク&ラン

タイの現地法人は、2024年11月に社員の健康増進を目的としてウォーク&ランのイベントを開催しました。109名の社員が参加し、全員で合計4,092kmをウォーク&ランしました。

## 感染症対策

ユニ・チャーム株式会社では、社員やその家族、取引先の安全を守るために、「ユニ・チャーム感染症ガイドライン」を定め、このガイドラインに従って感染症の対策に努めています。インフルエンザ予防接種については、費用を一部会社負担とし、社内予防接種会を開催することでより多くの社員がワクチンを接種できる環境を整備しています。海外拠点への赴任者や出張者には、イントラネット上の「海外サポート情報」を通じて、COVID-19、HIV／エイズ、結核、マラリア、肝炎などの感染症に対する情報を提供しています。

また、当社は、デング熱の拡大が懸念されているマレーシアやシンガポール、タイ、ベトナムにおいて、デングウイルスを媒介する蚊をおむつに寄せつけない紙おむつ『MamyPoko ANTIMOS Pants』を発売するとともに、専用のWebサイトを通じた啓発プログラムを提供しています。ブラジルとベトナムでは、蚊が忌避する成分を配合したウェットワイプスを販売しています。

web 『MamyPoko ANTIMOS Pants』専用Webサイト  
<https://mamypokoagainstdengue.com/>

P.106 【健康】デング熱に関する啓発活動

## 【インドネシア】「職場における結核予防」宣言会議に参加

インドネシアの現地法人は、2022年11月にインドネシア保健省が主催する「職場における結核予防」宣言会議に参加しました。この会議は、インドネシア政府が掲げた「2030年までに結核撲滅」という目標を達成するために、結核の早期発見を浸透させることを目的としています。また、政府目標を支援するため、インドネシア保健省と大塚製薬株式会社の支援を受けて、2022年7月に職場での結核感染者ゼロを目指すプログラムを開始しました。2024年度も継続し、感染者へのオンライン相談や医薬品の提供などのサポートを行い、2024年5月には、3月24日の世界結核デーを記念したインドネシア保健省主催のイベントで、「結核フリーの職場賞」を受賞しました。

## メンタルヘルス対策

ユニ・チャーム株式会社では、社員のメンタルヘルス疾病の予防の観点から、ストレスチェックをより多くの社員が受検するよう、その必要性や結果の活用方法を啓発しています。また、全社員を対象としてメンタルヘルス対策に関する研修を実施し、毎年受講率100%を達成しています。

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	範囲
ストレスチェック 受検率(%)	98.2	99.5	100	ユニ・ チャーム 株式会社
メンタルヘルス対策 研修受講者数(名)	1,934	1,944	2,126	
メンタル休職者数 (名)	7	9	13	

## 復職支援プログラム

ユニ・チャーム株式会社では、病気により長期休業となった場合でも円滑な復職ができるよう、「復職支援プログラム」に沿って産業医や保健師による継続的な個別支援を行うとともに、社外カウンセラーに相談できる支援プログラムを導入しています。

## プレゼンティーイズム、アブセンティーイズム

プレゼンティーイズムは、業務は継続できていても、頭痛や腰痛、不安や花粉症などでパフォーマンスが低下している状態のことです。ユニ・チャーム株式会社では、プレゼンティーイズムの程度と原因を「SPQ (Single-Item Presenteeism Question 東大1項目版)」で定期的に測定しています。

また、アブセンティーイズムは、健康問題による欠勤(病欠)です。社員の病気やけがでの休業がどのくらい発生しているかを「 $\text{疾病休業日数率} = \frac{\text{疾病休業のべ日数}}{\text{在籍社員数} \times 365} \times 100$ 」で測定し、その原因とともに経年で把握しています。これらの情報を基に、健康に関する施策を立案し、社員の健康増進を推進しています。

	2022 年度 実績	2023 年度 実績	2024 年度 実績	範囲
プレゼンティーイズム(%)	14.3	15.2	14.0	ユニ・チャーム 株式会社
アブセンティーイズム(%)	0.493	0.733	0.782	